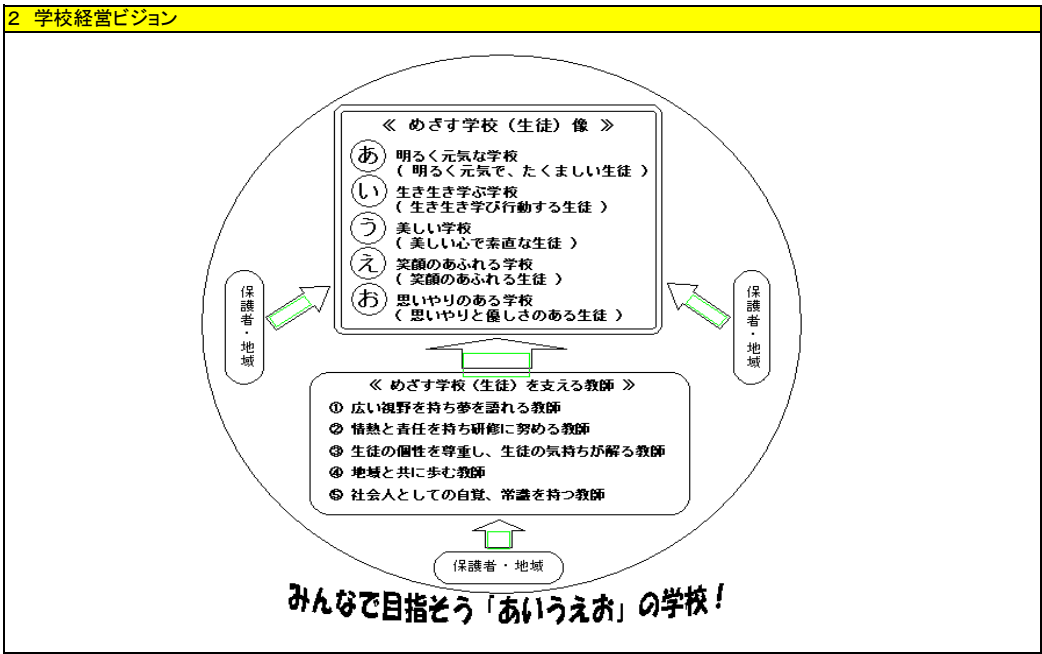


平成22年度 鹿島市立東部中学校 学校評価計画表

1 学校教育目標
<p>社会の変化に的確に対応するために、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性と創意に満ちた生徒を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知 — 自ら考え、正しく判断し行動できる生徒の育成 ・ 徳 — 礼儀正しく、思いやりのある生徒の育成 ・ 体 — たくましい心と身体を持つ生徒の育成



3 本年度の重点目標	4 前年度の成果と課題
<p>学校運営においては、学校教育目標の基盤となる共通目標「目指す、あ、い、う、え、おの学校(生徒)像」を定着させる。</p> <p>特に今年度は「生き生き学ぶ学校づくり」に重点を置いて取り組む。</p> <p>本年度教育の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 学力向上に寄与する望ましい生活習慣の指導 ◎ 少人数指導やIT指導など、指導方法・形態の改善を図る教科指導 ○ 命の尊さを自覚させ、豊かな心を育てる道徳教育、Eイズ教育の推進 ○ 集団の一員としての自覚を深め、調和のとれた人間性を育む特別活動、特に自ら考え自ら行動する生徒集団を育成する特別活動の実践 ○ 自ら学び考える力を育てる総合的な学習の時間 ○ 保護者と地域との連携を図り、生徒一人一人を理解する生徒指導 ○ 人間尊重の人権意識を育てる人権・同和教育 ○ 全職員で理解し指導をする特別支援教育 ○ 読書の習慣化を図り、思考力の向上を目指す読書指導 ○ 好ましい食生活の啓発となる食育指導 	<ul style="list-style-type: none"> ① 明るく元気な学校づくりについては、生徒会のあいさつ運動がきっかけとなり、よくあいさつをする習慣がついている。また生活習慣では、早寝早起きの習慣づけやテレビ、ゲームの時間について見直す必要がある。 ② 生き生き学ぶ学校づくりについては、学力向上を目指し授業改善や自主学習ノートの活用実践に取り組んだ。その結果、家庭学習習慣ができており、基礎学力も定着してきた。今後さらに家庭学習の質と量を高めていくように指導していく必要がある。 ③ 美しい学校づくりについては、掃除の徹底や教室環境の整備を通して心もきれいになることを目指した。8割以上の生徒がきちんと掃除ができており、おおよその成果は上がっている。毎年1年生への指導に力を入れる必要があり、これからも継続していきたい。また、掃除の時間の最後まで真剣にできるように指導していくとともに、掃除区域毎にマニュアルの作成が望まれる。 ④ 笑顔のあふれる学校づくりについては、生徒の不安や悩みを軽減するための教育相談体制を充実させたり、交通・安全指導を適宜行い、安心安全な学校を目指して危機対応の整備に努めた。 ⑤ 思いやりのある学校づくりについては、道徳教育の充実に努めた。いじめや差別をしないように心がけているが、人の嫌がるような言葉を使う者もあり、道徳的実践力を高めていきたい。また、QUテストなどの結果を学級経営に取り入れ、より良い人間関係づくりを目指して改善していく必要がある。

5 総括表

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○学校経営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校像「あいうえお」の周知を図る。 ・目指す学校像「あいうえお」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員、生徒、保護者への周知を図る。目指す学校像「あいうえお」の周知率は9割以上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議、全校集会で説明する。 ・PTA総会や地区懇談会等で説明する。 ・学校だよりや学級だよりに記載する。 ・めざす学校像については、校内に掲示し、常に身近なものとして感じさせるとともに実行力の高いものとする。
	○危機管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校像「え」の実施 ・危機に際してすぐに機能する「危機管理マニュアル」の定着。 ・危機に対して、敏感で的確な行動ができる体制整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルが機能性の高いものと感じる教職員が8割を超える。 ・危機に直面した際に的確な対応ができると思う割合が、職員8割、生徒7割を超える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡体制の確立。 ・マニュアルについて理解・徹底を図る。 ・関係機関との連携をとるとともに、各種訓練を実施し、体験的な理解を図る。 ・敷地内巡視をする。 ・多くの情報を発信し、危機意識を高める。
	○教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「めざす学校を支える教師像」を目標として常に研鑽を重ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広い視野を持ち夢を語る教師の意識の高揚。 ・情熱と責任を持ち、研修に務める教師の意識の高揚。 ・生徒の個性を尊重し、生徒の気持ちがわかる教師の意識の高揚。 ・地域と共に歩む教師の意識の高揚。 ・社会人としての自覚、常識を持つ教師の意識の高揚。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服務規律の保持に努める。 ・外部講師による研修会を実施する。 ・校内研修会を充実する。 ・講演会や研究発表会等へ主体的に参加する。 ・研修会等へ参加しやすい校内体制をつくる。
教育活動	●学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校像「い」の実施 ・望ましい学習習慣の定着を図る。 ・わかる、できる授業を目指し、指導方法の工夫改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習ノートの実施が9割を超える。 ・「ながら学習」をしない生徒が8割を超える。 ・CRTテストにおいて、すべての教科で、全国平均を上回る。 ・全国学力・学習状況調査および佐賀県学習状況調査の平均を上回る。 ・「わかる授業」との生徒回答率8割以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習ノートの定着。 ・保護者と連携を取り、「早寝 早起き 朝ご飯、テレビを消して家族団らん」を実行させ家庭学習の時間を充実させる。 ・標準授業時数を確保する。 ・TTや少人数授業を推進する。 ・授業研究会を実施する。
	●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校像「え」「お」の実施 ・道徳教育の充実 ・人権意識の高揚 ・ボランティア体験活動を通した思いやりの心、共に生きる心の育成 ・よい校風づくり ・教育相談体制の充実 ・人権・同和教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学級が、年間1回以上道徳の授業を、保護者に公開する。 ・性教育を充実させ、講演会を実施する。 ・ガタリンピック、福祉施設への訪問、24時間テレビ、クリーン作戦などのボランティア活動への参加を促す。 ・学校が楽しいと思う生徒が80%を超える。 ・安心して学校生活が出来ると思う生徒が80%を超える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全担任が年に1回は、道徳の時間を公開する。 ・エイズキャンペーンを開催する。 ・生徒会を中心に校内外で、ボランティア活動を企画し、体験活動の充実を図る。 ・教育相談の充実。 ・QUテストを活用した学級づくり。 ・差別やいじめを許さない思いやりのある学級づくり。人権作文や標語への取組。
	●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校像「あ」の実施 ・望ましい生活習慣の形成 ・健康な体づくり ・食育指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝早起きの習慣が出来る生徒が8割を超える。 ・朝食喫食率97%以上とする。 ・家庭で、テレビを見たりゲームをする時間が3時間以上ある生徒を1割以下にする。 ・部活動をがんばっていると答える生徒が9割を超える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を通した健康指導を充実させる。 ・保護者と連携して基本的な生活習慣をつけさせる。 ・活発な部活動の運営をする。
特定課題	○開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校情報の発信 ・学校の公開 ・学校評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便り、学級便りなど月に1回以上発行する。 ・学校行事への保護者の参加を8割以上、授業参観への保護者の参加を5割以上にする。 ・学校評価項目を全員が分担し、よりよい学校評価システムとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級だより、保健だより、図書だより、給食だより、進路だより、学校だより等を発行して、情報を発信する。 ・学校行事や授業参観などは早めに案内をし、参加率の向上を図る。携帯メールを利用した呼びかけを実施する。 ・開かれた学校づくり委員会等を開催して情報を公開し、評価の適正を判断してもらう。
	○掃除やあいさつの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校像「あ」「う」の実施 ・掃除指導の徹底 ・生徒、職員お互いに元気のよいあいさつを交わす 	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除をきちんとできていると答える生徒が9割を超える。 ・地域で元気なあいさつができていているという生徒が7割を超える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心とした挨拶運動の充実と教職員の指導体制を確立する。 ・教職員、保護者ともに挨拶を交わしあうように呼びかける。

●は共通評価項目、○は独自評価項目